

甲状腺検査に関するアンケート調査における
「UNSCEAR2020/2021年報告書」の見解等の取り扱いについて（案）

令和5年3月22日
福島県県民健康調査課

1 第46回「県民健康調査」検討委員会での議論

甲状腺検査に関するアンケート調査について、「UNSCEAR2020/2021年報告書」の見解等を踏まえた内容とすべきではないかとの意見があった。

一方で提案された内容については今回のアンケート調査の目的から離れている、調査の本来の目的を果たすことが難しくなるのではないか等の反対意見も出た。

2 県の考え

- 甲状腺検査については、これまでの「県民健康調査」検討委員会における取りまとめ等において、検査のメリットやデメリットを丁寧に説明し、対象者の同意を得て実施する事が重要であるとされている。

（平成28年3月 「県民健康調査」検討委員会 県民健康調査における中間取りまとめ 一部抜粋）

甲状腺検査については、県民の理解の促進を図り、受診者等の同意を得て実施していくという方針の下で、利益のみならず不利益も発生しうること、甲状腺がん（乳頭がん）は、発見時点での病態が必ずしも生命に影響を与えるものではない（生命予後の良い）がんであることを県民に引き続きわかりやすく説明したうえで、被ばくによる甲状腺がん増加の有無を検討することが可能な調査の枠組みの中で、現行の検査を継続していくべきである。

（令和元年6月 甲状腺検査評価部会 甲状腺検査本格検査（検査2回目）結果に対する部会まとめ 一部抜粋）

甲状腺検査対象者への説明内容について、評価部会において議論を進めてきたが、今後も対象者に対して甲状腺検査のメリットやデメリットを含め丁寧に説明し、理解を得るとともに、同意を得た上で実施することが重要である。

- このため、県では甲状腺検査評価部会及び「県民健康調査」検討委員会の御議論を踏まえ、「検査のメリット・デメリット」を作成し、令和2年度（検査5回目）から検査案内に同封して検査者に周知を図ってきた。
- 今回のアンケート調査は、これまでの情報提供による検査のメリット・デメリットの認知状況等を確認することを目的、趣旨の一つとして実施するものである（第45回「県民健康調査」検討委員会で決定）。

（第45回「県民健康調査」検討委員会で決定したアンケート調査の目的、趣旨）

- ・ 検査のメリット・デメリットに対する認知度を調査し、今後の周知方法等の改善に係る議論の参考にする
- ・ 県民の検査に対する認識（放射線に対する不安の有無や検査の利便性の有無といった受診動機等）を調査し、今後の検査の在り方の議論の参考にする

- UNSCEAR の見解等をアンケート調査に含めることは、今回のアンケート調査の目的、趣旨とは異なっている。
- また、一部の委員から意見があったとおり、UNSCEAR の見解等を伝えることや認知度を確認する設問を入れることによって、本来の調査目的、趣旨に関する設問に係る回答を誘導する恐れがある。
- したがって、UNSCEAR の見解等については、今回のアンケート調査には含めないこととしたい。
- 一方で、検査対象者が甲状腺検査の受診の有無を判断するに当たってどのような情報が必要なのかについては、今回のアンケート調査の結果を踏まえて「県民健康調査」検討委員会で御議論いただき、改善につなげたい。

3 対応案

- アンケート調査票の「問 10. 「甲状腺検査のお知らせ」（検査を案内する際の送付物）に追加して伝えて欲しい情報があればお書きください」の回答選択肢に以下の選択肢を追加する。
 - ・ これまでの甲状腺検査結果に対する県（もしくは関係機関等）の評価
 - ・ これまでの甲状腺検査結果に対する国際機関等の国際的な評価